

広報



あ 海 ま 士

平成20年

5

No. 413

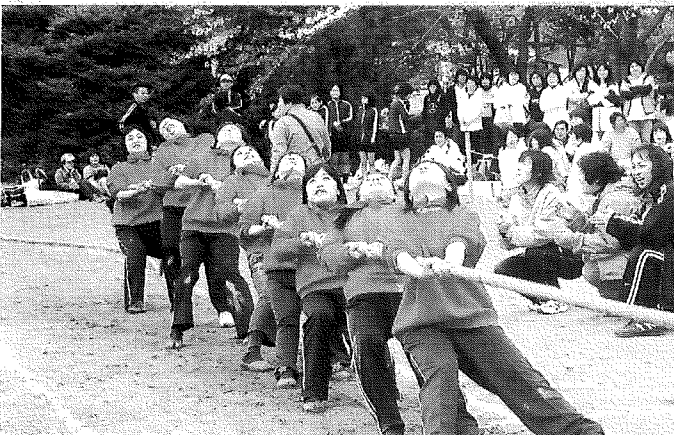
◆編集発行 島根県隠岐郡海士町役場
TEL (08514) 2-0111
◆印刷 信栄堂印刷(海士町菱浦)
Eメール: info@town.amashimane.jp



連続出場している諏訪軍団今年はパフォーマンス賞に輝く！



今年も連続出場の御波アルチューズ



1ターンの方々との交流深め今年も健闘北分レディース



町の人口世帯数

総人口 2,408人(-19)
男 1,131人(-15)
女 1,277人(-4)
世帯数 1,097世帯(+1)
住民基本台帳(4月末現在)
()内は2月末との比較



桜舞う綱引き大会

桜舞う隠岐神社外苑で第23回隠岐島綱引き大会が行われました。今年も町内外の職場、地域、学校から総勢34チームおよそ300名が参加し、大勢の観客が見守る中、手に汗にぎる熱戦を繰り広げました。

(関連記事P8)



主な内容

- 平成20年度行政施策方針…………… 2～5
- 平成20年度予算…………… 6～7
- 町の話題…………… 8～11
- 議会だより…………… 12～15
- 教育だより…………… 16～20
- PJ関連事業…………… 21
- 隠岐島前高校だより…………… 22
- 戸籍の窓他…………… 24

平成20年度行政施策方針

持続可能な地域社会を築く人づくりを！

3月定例議会において提案した平成20年度予算案の説明に先立ち、所信の一端を述べます。

町政を取り巻く財政事情

世界経済は、米国の低所得者向け高金利住宅ローン、いわゆるサブプライム問題に端を発した金融市場の混乱により、景気減速のリスクが益々高まっています。一方、我が国は、これまでの景気回復を外需に依存しており、米国の景気後退が現実化すれば、景気回復が一気に腰折れしかねないリスクを抱え、極めて厳しい状況に陥ることになりかねません。

本町の財政状況については、実質公債費比率の財政指標等大変厳しい状況にあり、平成16年度の三位一体の改革による普通交付税の大幅カットを受けた地方財政ショック以来、住民サービスの低下を来たさ

各分野の取り組み

福祉関連について

(1) 少子化対策

海士町で子育てしやすい環境づくりの一環として、昨年新築したけいししょう保育園では、通常の保育に加え、新たなサービスとして子育て支援センターや一時保育などの事業が実施され、より充実した子育て支援ができるようになりました。さらには、平成11年より隠岐開発総合センターで行ってきた放課後児童クラブ事業を改め、ニーズにより広く応えていくように、「けいししょう保育園」へ委託いたします。

(2) 障害者施策

障害者の方々地域で就労ができ、自立できるように国の制度を取り入れながら支援をしていきます。そのため、引き続き海士町での障害者就業の拠点というべき「さくらの家」への支援を行い、自立して安心な生活ができるようにいたします。

(3) 高齢者福祉関係

昨年65歳以上の方を対象と

して実施したアンケート結果と、出郷者への調査結果を集約し、必要なサービスを検討していきます。

(4) 保健関係

今年度より「老人保健法」が「高齢者の医療の確保に関する法律」に全面改正され、新たな健診や保健指導、健康増進事業の体系に変わりますので、関係機関と連携を図り、町民の健康づくりがスムーズにしかも有意義に行われるようにいたします。また、認知症対策についても、予防から早期発見と、認知症の方と家族への支援、地域ぐるみの支援など幅広い対策を専門機関と協働で取り組みます。



保健師による健康体操指導

生活環境関連について

(1) 旅券交付事務

島根県から権限委譲を受けて、平成20年4月からパスポートの申請受付と交付事務を役場窓口で行います。これにより従来西ノ島町別府の島前集合庁舎までお出かけいただいていたりましたが、これからは、町民の皆様の利便性向上に繋がるものと考えています。

(2) 環境・ゴミ問題

「海士町環境美化条例」に基づき、住民や事業所等と一体となって不法投棄防止や空き缶空きビン等のポイ捨て防止に引き続き取り組みます。また、毎月1日のゴミを拾おうデーの継続と、月1回の省エネルギーの日を設定し、町全体の省エネの機運醸成を図ります。

また、清掃センター、リサイクルセンター、最終処分場については、運営の効率化を図り、ごみの減量化やリサイクル対策を推進します。さらには、平成19年度、清掃センターに廃食油燃料化装置を設置したことにより、清掃センターの経費節減と廃食

油排出による自然界への影響を軽減したいと考えます。これは、清掃センターのゴミ燃焼炉の燃料である灯油に、家庭や飲食店から出る廃食油を20〜30%混ぜ合わせて使用するための装置であり、環境にやさしいリサイクルでもありません。使用にあたり廃食油の出し方はチラシ等で周知いたします。町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

(3) 国民健康保険事業

国民健康保険については、医療制度改革により、平成20年4月から海士町国保も保険者の立場で、満40歳〜74歳までの被保険者に対して特定健診と特定保健指導を実施することが義務づけられました。また、満75歳以上の方についても、島根県後期高齢者医療広域連合から委託を受け海士町が健診等を行います。

特定健診については、海士診療所での集団健診を予定しています。また、特定保健指導については、健康福祉課の保健師と栄養士が行います。

(4) 診療所関係

電子カルテの導入による業務の効率化を図る一方、新しい医療機器2機を購入し病気の早期発見早期対策を図ります。さらに、建物周辺の地盤沈下による陥没、舗装亀裂、雨水配水管等の改修工事を行い、施設の機能維持を図ります。

(5) 簡易水道事業

平成20年度に水道メーターの取り替えを行います。これは、計量法に基づき、計量誤差を防止するために8年ごとに行われるものです。

産業振興について

(1) CAS事業

「ふるさと海士」創立来、CAS商品の認知度は着実に高まりつつあり、売り上げも年を追う毎に伸びてきており、新年度はさらにしっかりとした戦略のもと、商品開発と営業販売に力を傾注していきたくと考えています。

(2) 畜産関係

隠岐潮風ファームの肥育牛が平成18年3月の初出荷以来、平成20年1月まで17頭を東京市場に出荷し、品質面においては、上物率78%と他産地に

類を見ない驚異的な数字を達成しています。「島生まれ島育ち隠岐牛」の銘柄でブランド化は、確実に定着しつつあります。

新年度においても、隠岐牛の品質並びにPR活動の支援はもとより、宇受賀地区に8.5haの草地整備と低コスト牛舎建設等を整備することにより、繁殖牛の生産振興を図り、増頭に向けた生産基盤を整えます。

(3) 塩関連事業

塩から始まるものづくりですが、海士乃塩からの産品づくりを目指し、崎地区の梅干しづくり、知々井グループの塩辛づくり、また、豊田地区の干物づくりなど、地区からの「モノづくり」の活動が着実に広がりを見せております。

また、昨年度から重点的に取り組んでいる「ふくぎ茶」の商品化についても、「さくらの家」を中心に新パッケージの商品も出来上がり、島外での試飲販売等マーケティング調査を実施しているところで、今後地域からの活動を重点的に支援してまいります。

(4) 地産地消

地産地消の推進については、昨今「食の安全・安心」が叫ばれている中、これまでの取組を再構築し、学校給食、町内事業所、島前管内への地元農産物の利用拡大を図ります。

併せて地元食材を活用した料理講習会等を通じて、地域食材の見直しや、健康で安心して食育活動を推進するとともに、料理研究家 中村成子先生に地域再生マネージャー事業を活用してご指導を頂き、高付加価値商品づくりと販売促進活動に努めます。

(5) 水産関係

岩がき「春香」については、2年後の30万個の出荷体制が目前に迫ったことなどの対策として、岩がきの処理出荷施設の二号棟を知々井港港湾背後地に新たに建設整備し、安定した出荷態勢と「海士春香ブランド」の低下を招かぬよう改善に努めたいと考えています。

干しなまこの加工については、安定した漁獲量を確保していくために、捕獲制限の検討も念頭におきながら、増養

殖技術を活用した資源管理の手立てを早急に打ち出していく必要があります。

新年度より、なまこの生態調査及び生息調査などを実施する一方、岩がきの種苗施設や完成間近の海洋資源研究施設を活用しながら、海士町におけるなまこの種苗技術の早期確立を図ります。

そのほか、漁業体験等を通じた都市との交流事業をはじめ、海洋資源の高付加価値の商品開発や販売活動、さらには担い手や起業育成といった取り組みについても、離島再生交付金事業や漁村地域力向上事業等により積極的に支援を展開したいと考えます。



ICT事業について

昨年度から着手している国の委託事業ICT事業ですが、新年度の取り組みについては、出来上がったシステムを活用しながら地域情報の提供或いは街頭ディスプレイの設置、ウェブ上でのネットワークの構築などを主に進めていく一方、その発信母体となる(仮称)海士テレビ局の立ち上げをはじめ、地域情報のコンテンツづくりの講習会や特産品の紹介PRなど、実際に映像配信を行いながら広告媒体としてのマーケティング調査を実施する考えです。

また、ICT事業は平成22年度から自主運営に切り替わることから、それを見据えた体制づくりと映像配信による広告収入を得るための活動として、海士町と同じ悩みを持つ全国の離島並びに中山間地の自治体に参画を呼びかける運動を行いたいと考えます。

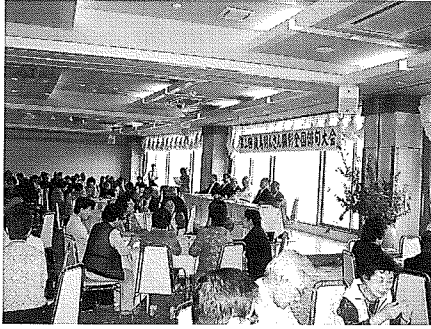
交流促進について

今年度は交流人口の拡大を緊急課題に据えて、取り組みに力を注ぎます。

具体的には、観光協会へ行

政としても引き続き支援をしながらスタッフと智恵を出し

合い、これまで取り組んできた俳句・短歌の著名な先生方と一緒に旅するツアーの拡大と、島の自然環境を活かした癒しのツアーなど独自の観光商品をもとに、訪れたお客様をもてなし、海士を好きになつて再び訪れて頂くような取り組みを行うなど安定した交流人口の確保に努めます。その為の情報発信としてITを活用した広告媒体での情報提供と、またはオリジナリティあふれる紙媒体での情報提供など「もてなし」と「癒し」の島を全国に情報発信しながら、新しいお客様の開拓に努めます。そして、各観光関係者との連携を強化し取り組んでい



昨年行われた後鳥羽院俳句大会では150人の俳人が訪れた

きます。

公共事業について**(1) 道路整備**

「日須賀・崎線バイパス整備事業」については、19年度に用地買収を終え、崎、多井地区住民の生命・財産を守る生活路線として、いよいよ新年度より県代行事業で工事に着手します。

御波から西へのふるさと農道については、平成19年度に延長約2kmが完成しましたが、この続きは県営一般農道整備事業として新年度より着手します。また、新開農道については、諏訪川下流の諏訪浜橋を拡幅改良しており、これの完成に努めます。

さらに、諏訪川に架かる向新開橋、町道宇受賀線の芦田橋は、幅員が狭く通行に支障をきたしているため、まちづくり交付金事業において、新年度拡幅改良に着手します。

(2) 港湾整備

町民及び観光客等の海洋性レクリエーション活動の拠点として海士港先灘地区において港湾環境整備事業を実施していますが、20年度は養浜工

(砂浜の整備)と周辺の公園整備に着手します。

保々見港港湾改修事業については、北防波堤、物揚場の整備に着手し完成に努めます。

(3) 漁港整備

漁業集落の生活基盤を重点に整備しており、宇受賀漁港では、老朽化している物揚場の改良整備に着手します。菱浦漁港については、島前高校下の運動施設、集落道の整備に着手します。また、漁港の方

では、菱浦漁港・旧隠岐観光事務所前の栈橋式岸壁の改良に係る測量設計に着手します。

(4) 下水道整備

生活環境整備として進めている特定環境保全公共下水道整備で、北分地区・西地区の管路整備を実施します。

また、市町村設置型合併浄化槽整備については、引き続き10基の整備を実施します。

防災関係について

毎年防災訓練を実施していますが、こうした経験を踏まえ、より実践的な訓練を実施していくためにも、海士町防災計画の再点検と見直しを行い、より一層防災体制の充実

に努めます。

広報広聴関係について

行政の情報発信の中心として町広報「海士」は、町民はもとより多くの出郷者の方々にもご覧頂いています。また、さらに広範囲にタイムリーな行政情報を発信すべく、海士町ホームページ「元気発信基地」と自治体ウェブ併用の形で、環境整備をしてきました。自治体ウェブについては行政情報の発信媒体として充分活かしていかないのが現状です。いまや電子媒体による情報発信は自治体にとって不可欠であり、今年度は海士町ホームページを再構築し、さらなる充実を図ることで、「島まるごとブランド化」の動きに沿った的確な情報発信に努めます。

第4次海士町総合振興計画について

平成11年度から始まった第3次総合振興計画が平成20年度をもって終了します。昨年度から第4次海士町総合振興計画の準備を進めてきました。今年度はいよいよ本格的な策定となります。

この計画は、第3次総合振興計画の理念や方向性を更に継承発展させ、住民と行政が一体となって「未来の海士町を創造」していけるように、策定のプロセス段階から住民参加型で計画づくりを進めたいと考えます。

学校教育関係について

(1) 学力向上

学力の面で言えば、離島は都市部に比べ、学習塾や家庭教師、中高一貫などの体制が整っておらず、「この島で子どもを育てて、本当に大丈夫だろうか」という保護者の不安の声も出てきています。人口流出を食い止め、若者のUターンを増やそうという人口施策とともに、未来の海士町を支える人づくりの観点からも、高校まで、安心して子育てができる環境整備は不可欠です。そこで20年度は、学力向上のための計画づくりから実行までフォローアップできる学習支援コーディネーターを採用して、島前高校の魅力向上プロジェクトの一環として、更なる学力面での充実化を図ります。

(2) 読書活動の推進

読書活動は、読解力や情報活用能力を培うだけでなく、表現力や豊かな情操、志など人間力を育む重要な教育活動であります。そこで昨年、『図書がない』というハンディキャップを逆に活かし、島の保育所・高校・公民館が連携していくことで、島全体を一つの「図書館」と見立てた『島まるごと図書館構想』を打ち出しました。そして文部科学省の補助事業の採択を受け、2名の読書コーディネーターを配置し、活動を始めたところです。

新年度は、この構想の充実に向けて補助事業を活用した「学校図書館の環境整備と利用の促進」を中心に、読書活動推進の支援組織を立ち上げて、生徒・教員だけではなく、保護者や町全体の読書に対する意識の向上に努め、今後、目に見えるような成果を出していく読書活動を更に強化していきたいと思えます。これまで離島と本土の学力格差・教育格差は見逃され、「勉強したいなら本土へ出るしかない

い」とされてきましたが、これからは「子育てするなら海士町で、そして島前高校へ」と変わっていくように、島のハンディキャップをアドバンテージに、人づくりも最先端を目指し果敢に取り組みます。

(3) 環境教育の推進

今年2008年より、京都議定書での約束期間が始まります。地球温暖化など環境問題が世界の最重要課題に位置づけられ、環境に対する意識が急速に高まっています。このような背景の中、海士中学校が環境省の「学校エコ改修と環境教育事業」のモデル校として選定されました。この事業を活用し、老朽化した海士中学校を環境に配慮したエコスクールに改修し、校舎を環境教育と交流の拠点と位置づけ、町全体に環境意識を高めていきたいと考えています。

昨年12月には、生徒、自らが改修案を地域に向けて提案しましたが、新年度は、ハード面にも、中学生の意見を反映した設計をもとに、改修工事に取りかかります。またソフト面においては、小学校と

中学校の連携による環境教育を充実させるとともに、学校・家庭・地域のつながりを深めることで、まち全体に環境に対する関心と取り組みを広めていきます。これからの産業・交流・住民の暮らしなどを総合的に考えた時、「環境」の視点を取り入れたブランドづくりと持続可能な循環型社会の構築は不可欠であり、まずはその土台となる環境教育を強力に推進します。

人間力推進プロジェクトについて

人間力推進プロジェクトチームでは、「交流を通じた人間力溢れる人づくり」をテーマに事業を進めており、都会の若者を中心に、海士の子どもや若者たちと交流しながら、人間力育成に努めています。また、都市との交流を図ることに、海士町の魅力を島外へ発信することができ、更なる交流人口の拡大が期待できます。新年度は「島前高校の魅力化」を最重要課題として位置づけ、西ノ島町、知夫村にも働きかけをしながら、三町村の連携による「隠岐島

前高校の魅力アップ作戦」を展開します。この島前高校の問題は海士町だけでなく、島前全体にとつての文化的・経済的・人的に計りしれない損失です。統廃合を避け、島前の子どもたちにこの島で最高の教育を提供していくためには、島前高校にさらなる魅力と特色をつくり、島前からの生徒に加え、本土からも生徒が集まる高校にしていくしかありません。そのために三町村連携の協議会を立ち上げるよう、既に取り組みを進めています。

このほか、人間力推進プロジェクトチームでは、まちが抱えている様々な課題について整理し、解決に向け取り組みます。そして、町全体で人づくりを進めていくために、ご要望ご批判も含めて、皆様の声に耳を傾けながら進めていきたいと考えています。



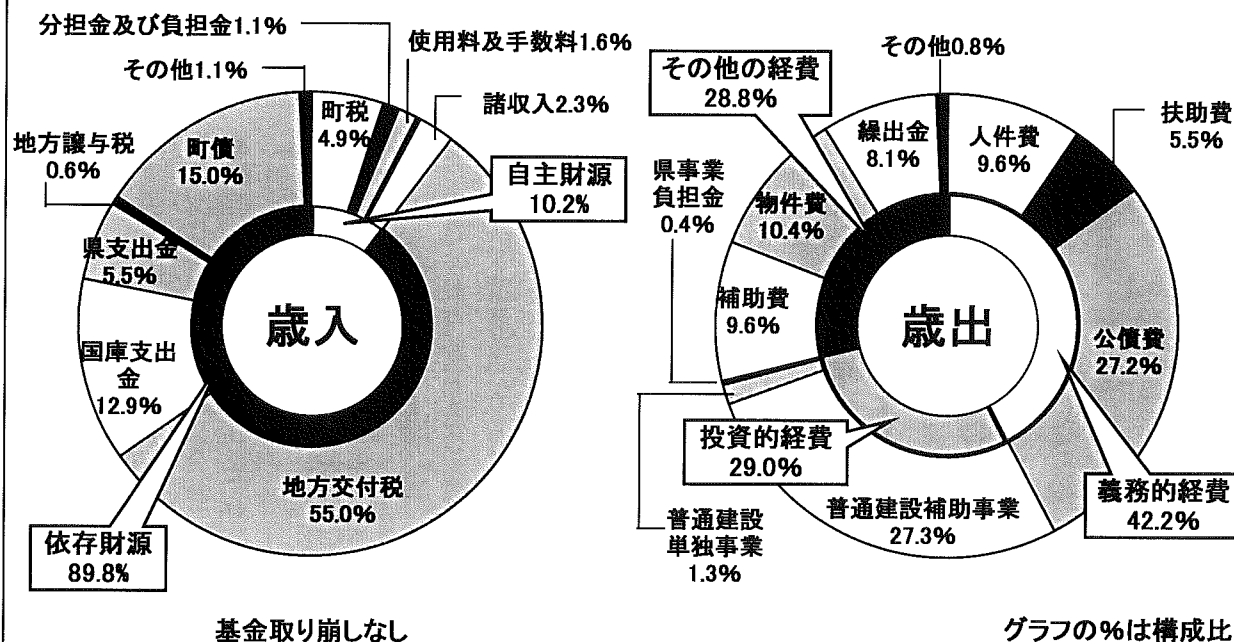
平成20年度 町の予算

一般会計予算 39億7,941万円 (対前年度比 10.23%増)
 特別会計予算 14億7,566万円 (対前年度比 20.88%減)
 計 54億5,507万円 (対前年度比 0.37%減)

町の予算について

平成20年度の海士町の予算が3月議会で承認され、スタートしました。今年度も基金の取り崩しをせず、予算編成を終えることができましたが、依然として大幅な人件費カットは継続しています。一般会計予算が、昨年度と比較して10.23%増額となった主な要因は、投資的経費の町道宇受賀線と町道新開2号線の拡幅改良事業が合わせて1億6千万円、海士中学校のエコ改修事業1億3千6百75万円と大きな事業を新たに計上したことなどによります。なお、これら事業の財源となる国庫支出金、町債も投資的経費の新たな事業に連動して増額となっています。

一般会計の歳入と歳出の状況



一般会計総額 39億7,941万円

【主な歳入】			【主な歳出】		
項目	対前年度比	対前年度比	項目	対前年度比	対前年度比
自主財源	405,467 千円	8.9%	義務的経費	1,680,162 千円	0.9%
町税	196,092	▲0.3%	人件費	378,102	▲7.1%
分担金及び負担金	43,596	▲26.1%	扶助費	219,913	5.4%
使用料及び手数料	61,969	5.2%	公債費	1,082,147	3.1%
財産収入	11,268	5.7%	投資的経費	1,152,233 千円	31.5%
繰入金	0	0.0%	普通建設補助事業	1,086,255	50.8%
諸収入	92,542	111.7%	普通建設単独事業	51,978	▲46.9%
依存財源	3,573,942 千円	10.4%	県事業負担金	14,000	▲75.9%
地方交付税 (臨時財政対策債含む)	2,189,142	6.0%	災害復旧事業		
国庫支出金	512,784	35.6%	その他の経費	1,147,014 千円	7.3%
県支出金	217,866	▲17.9%	補助費	382,411	▲1.1%
地方譲与税	25,210	▲1.1%	物件費	415,259	2.6%
町債 (臨時財政対策債除く)	596,900	26.8%	繰出金	318,722	27.6%
その他	32,040	▲11.3%	その他	30,622	11.8%

(%は対前年度当初予算比、▲はマイナス)

予算の主な使い道(一般会計)

(単位:千円)

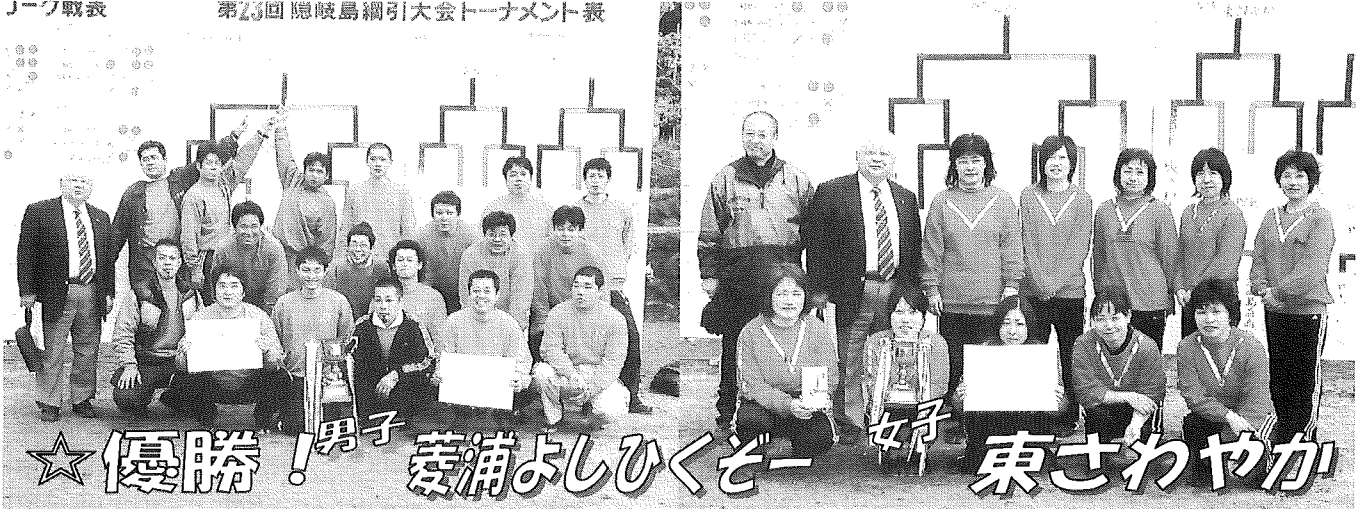
人件費	378,102
職員人件費(給料・手当・共済費等)	316,011
特別職人件費(給料・手当・共済費等)	25,428
議員人件費(報酬・手当・共済費)	19,247
区長報酬	6,213
各種委員報酬	5,701
外国青年報酬	3,900
その他の人件費	1,602
扶助費(生活保護法、障害者福祉法、老人福祉法、児童福祉法に基づく支出)	219,913
児童措置委託料	64,495
生活保護費	10,800
障害者支援費(施設入所等)	44,160
障害者支援費(グループホーム等)	27,023
老人ホーム入所措置費	25,097
地域子育て支援センター委託料	7,996
放課後児童クラブ委託料	3,720
高度僻地修学旅行費(小中学校)	2,436
児童扶養手当	5,355
老人福祉法に基づく経費	28,831
公債費(借金の返済)	1,082,147
長期債償還元金	937,350
長期債償還利子	133,474
繰上償還元金(補償金免除)	9,323
一時借入金利子	2,000
物件費(需用費、役務費、委託料等)	415,259
商品開発・販売促進等ソフト事業	61,269
電子計算費	27,499
都市地方連携推進事業委託料	14,590
保健センター健康増進部門委託料	14,103
居住施設事業運営費委託料	12,849
清掃センター焼却施設保守点検委託料	15,249
リサイクルセンター保守点検委託料	2,825
観光施設管理経費	3,613
第4次海士町総合振興計画策定委託料	2,200
町政施行40周年記念行事事務費	1,400
千本桜下刈委託料	2,550
臨時職員賃金	34,437
島まるごと図書館構想委託料	9,556
火災報知器等点検委託料	4,882
森林林業振興事業(シキミ栽培事業)	2,000
子ども農山漁村交流事業(島前地区)	1,000
その他の物件費	205,237

普通建設事業(社会資本整備のための事業)	1,138,233
先灘地区海岸環境整備事業	200,000
海士中学校エコ改修事業	136,754
保々見港改修事業(H20年度完成)	115,000
町道宇受賀線拡幅改良事業	94,000
佐渡公園、鏡ヶ浦展望所他整備	66,443
町道新開2号線拡幅改良事業	66,000
菱浦漁港漁業集落環境整備事業	70,000
宇受賀漁港漁村再生交付金事業	60,000
いわがき施設整備事業	60,000
菱浦漁港地域水産物供給基盤整備事業	50,000
ふくぎ茶加工施設整備事業	30,000
新開農道整備事業	13,208
その他の普通建設事業	176,828
県事業負担金(町は事業費の1/10負担)	14,000
県営西地区一般農道整備事業負担金	10,500
県道海士島線整備事業負担金	1,500
急傾斜地崩壊対策事業負担金	2,000
補助費(各種団体への負担金、補助金等)	382,411
隠岐広域連合(消防運営費)負担金	72,560
隠岐広域連合(更正・授産施設)負担金	13,303
隠岐広域連合(島前病院)負担金	7,467
隠岐広域連合(総務費他)負担金	17,569
島前町村組合(内航船)負担金	47,877
生活路線バス運行費補助金	29,401
海士町社会福祉協議会運営費負担金	13,449
海士町観光協会負担金	11,000
隠岐観光協会補助金	2,777
結婚・出産等奨励金	5,650
島根県後期高齢者医療広域連合負担金	3,797
キンニヤモニヤ祭補助金	3,200
中学校各種大会選手派遣費補助金	3,000
各地区補助金	2,904
その他の補助費	148,457
繰出金(本町特別会計への補助金)	318,722
隠岐広域連合(介護保険会計)負担金	58,321
老人保健特別会計繰出金	3,429
国保事業勘定特別会計繰出金	19,574
海士診療所繰出金(医科)	13,701
海士診療所繰出金(歯科)	6,823
後期高齢者特別会計繰出金	39,757
簡易水道特別会計繰出金	73,445
下水道特別会計繰出金	103,672

第23回隠岐島綱引き大会

J-7 戦表

第23回隠岐島綱引き大会トーナメント表



★優勝! 男子 菱浦よしひくぞー 女子 東さわやか



今年はベストドレッサー賞に輝いた西こしひかりの皆さん。



小学生の部で第2位に輝いた福井デンジャラスのみなさん。そーれー!

桜花爛漫

集い笑い 団結の汗!

4月13日、第23回を迎えた隠岐島綱引き大会が隠岐神社外苑において行われました。

参加チーム数は、一般の部に男女合わせて25チームと小学生の部7チームが出場。総勢300名余りの選手が参加し満開の桜の下で熱気溢れる勝負を繰り広げました。

また、花見に訪れた方々や職場の仲間、PTAまた、地区をあげて応援にかけつけた皆さんからの熱い声援と選手の皆さんの力が一体となり名勝負の数々を見ることができました。今年も女子の部で活躍した東さわやかチームは5連覇を達成する団結力の強さと最後まで諦めない底力を見せてくれました。選手の皆さん、応援して下さいました関係者のみなさん、そして、運営スタッフの皆さん本当に御疲れさまでした。『来年こそ!』を合い言葉に皆さまの参加を是非お待ちしております。

* ◆ ◆ 大会結果 ◆ ◆ *

* 男子の部

- 1位 菱浦よしひくぞー
- 2位 菱浦よしひくぞーTYPE B
- 3位 飯古建設

* 女子の部

- 1位 東さわやか
- 2位 海士セレ・ブス
- 3位 amajin

* 小学生の部

- 1位 ゆらっこガールズ
- 2位 福井デンジャラス
- 3位 ゆらっこボーイズ



第3位に輝いた飯古建設の皆さん大健闘

春の全国交通安全週間



交通安全テント村開設

4月8日、交通安全テント村を桑本石油店前に設置し、通勤する車や自動二輪車等を止め、交通安全の呼びかけを行いました。

運動の重点

①全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

②自転車の安全利用の推進

③飲酒運転の根絶



町民一人ひとりの交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を推進し、日頃から交通事故防止の徹底を図りましょう！

タクシーによる「子どもみまもり活動」の開始



海士町では、平成19年4月1日に「海士町安全で安心なまちづくり条例」が制定され、町を中心に関係機関と団体等が協働し、青色防犯灯の導入など、安全で安心なまちづくりに向けた各種施策を展開してきました。

これまでに、海士町内では、海士ブルーライトパトローলের隊員により、青色回転灯を装着した車（通称青パト）3台を運用し、子どものみまもり活動を推進してきましたが、この度、海士町内のタクシー会社「石塚タクシー」、**「隠岐海士交通株式会社」**

社のご協力を得て、3月5日からタクシーに「子どもみまもりの車」と書かれたマグネツトシートを貼り、タクシーによる子どものみまもり活動を開始しました。

犯罪はいつどこで発生するかわかりません。

町民の皆様には、安全で安心なまちづくりに向け、積極的な自主防犯活動の推進をお願いします。

子どもみまもりの車

海士町公共事業発注計画の公表について

◆平成20年度海士町が発注する公共事業の発注計画を公表いたします。（工事費500万円以上のもの）

平成20年度 海士町公共事業発注計画の情報公開			
工 事 名	施工場所	発注予定時期	主 要 工 事 内 容
海士港先灘地区港湾環境整備工事	發浦地内	5月上旬	養浜工 A=2, 380㎡、A'-スハウス1棟
宇受賀漁港再生交付金整備工事	宇受賀地内	7月下旬	物揚場 L=80m
宇受賀漁港 測量設計業務委託	宇受賀地内	7月下旬	護岸 測量調査設計
發浦漁港漁業集落環境整備工事	發浦地内	7月中旬	集落道、緑地広場、交通安全施設
發浦漁港地域水産物供給基盤整備工事	發浦地内	7月下旬	岸壁 測量調査設計
特環 下水道管渠布設工事（北分）	北分地内	7月上旬	150mm管 L=600m
特環 下水道管渠布設工事（西）	西地内	7月上旬	150mm管 L=1,000m
特環 下水道管渠布設工事（東、西）	東、西地内	7月上旬	舗装工 L=1,500m
特環 単独管渠布設工事（北分、西）	海士地内	7月上旬	150mm L=250m
宅内排水工事	海士方地内	8月下旬	公共施設関係
合併浄化槽整備事業	海士方地内	4月中旬	合併浄化槽設置工事 10基
新開農道整備工事	中里地内	5月上旬	橋梁上部工 L=15.5m
保々見港港湾改修工事	保々見地内	7月上旬	北防波堤、護岸、物揚場
宇受賀線道路改良工事	中里地内	10月上旬	道路改良、橋梁改良 L=217m
新開2号線道路改良工事	中里地内	10月上旬	道路改良、橋梁改良 L=112m
八雲広場整備事業	發浦地内	10月上旬	公園整備、公衆トイレ整備
海士中学校エコ改修工事	海士中学校	6月上旬	エコ改修
給排水施設取替舗装工事	中里地内	未定	給排水施設取替
低コストリース牛舎整備	海士・崎地内	未定	繁殖牛牛舎棟

～子育て支援情報～

海士町エンゼルプラン

海士まるごと家族！天使のほほえみ みんなのほほえみ

海士町では、子どもの生み育てやすい環境整備を図るため、次のような支援を行っています。お気軽にご利用ご相談下さい。

結婚したら

- ★結婚祝金 200,000 円を支給します。
(1人100,000円) 1人1回限り

転入したら

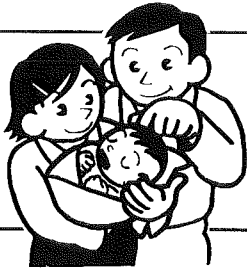
- ★乳幼児・児童・生徒1人50,000円を支給します。

赤ちゃんが生まれたら

- ・出産祝金を支給します。
1人目100,000円、2人目200,000円
3人目500,000円、4人目以上1,000,000円
- ・里帰り出産時の交通費を助成します。
往復の交通費50,000円まで助成します。
- ・乳幼児医療費を助成します。
3歳未満(上限額入院2,000円、入院外1,000円)
3歳～就学前(上限額入院2,000円、入院外1,000円)ただし、3歳から就学前については上限額を超えた部分については役場に後日申請し、返還します。
- ・乳児健診2回分の費用を助成します。
- ・児童手当を支給します。
3歳未満又は第3子以降は月額10,000円、その他は小学校卒業まで月額5,000円支給します。
- ・チャイルドシート購入費を助成します。
購入費の1/2(2万円上限)

妊 娠 し た ら

- ・妊婦検診10回分の費用を助成します。
5回分の健診券を母子手帳交付時に支給します。
5回分は20,000円を助成します。
- ・妊婦検診時の交通費の一部を助成します。
1回当たり交通費(島後2,500円、隠岐島外6,000円、宿泊費1泊2,500円)
- ・子育てパスポートを交付します。
協賛店でパスポートを提示すると各種サービスが受けられます。
- ・レインボープラザの宿泊費を助成します。
妊産婦やその家族が出産のためレインボープラザに宿泊したとき利用料金の一部を助成します。
- ・不妊治療のための通院交通費の一部を助成します。
1回当たり交通費〔島後2,500円、隠岐島外6,000円、宿泊費1泊2,500円〕
(300,000円限度)



保育所に入所したら

- ・保育料の軽減
第3子以降の保育料を無料にします。
- ・一時保育、病後時保育、延長保育、土曜保育を行います。

そ の 他 の 支 援

- ・18歳以下の子どもが精密検査等に係る交通費の一部を助成します。
1回当たり交通費(島後2,500円、隠岐島外6,000円、宿泊費1泊2,500円)
- ・放課後児童クラブ
保護者が仕事などで家庭にいない小学生を対象に、長期休暇や放課後に適切な遊びや生活の場を提供します。(けいしょう保育園、通常：放課後～18:30、春、夏休み8:00～18:30)
- ・子育て支援センターを開設します。
けいしょう保育園で子育てに関する相談や子育て親子の交流、本の読み聞かせ、園児との交流、育児講座等を行います。
- ・子育て応援団の創設
子育て支援センターを中心に子育て中の家庭の子育て支援を行います。(一時預かり等)
- ・温たまたまクラブ
海士町社会福祉協議会(ひまわり)フリースペース型サロンで行います。
- ・子育てサロン、海士の絵本蔵、キッズルームの開放
NPO法人「海士人」が行います。

平成20年度 海士町人材育成基金を活用してみませんか！

- 1. 設置目的 まちづくりの積極的な推進を目的として、幅広い視野と優秀な技術、能力を有する人材の育成
 - 2. 対象者 ・海士町に住所を有する者で、引き続き居留意志を持つ者、又は海士町に定住の意志を持つ者で、おおむね15歳以上50歳未満の者
 - 3. 補助対象
 - ・農林漁業、観光、商工業等の団体に属する者等が企画する研修、視察
 - ・まちづくりのための国内外の視察研修
 - ・職業訓練学校就学
 - ・定住目的の進学者に対する学費
 - ・定住目的の就職見習い者の家賃
 - ・その他町長が必要と認めるもの
- 【定住の認定】 事業完了後5年以内に住所を海士町に移し、継続して3年間住んだ者

4. 補助金額

内 容	金 額	限 度 額	期 間
研修・視察事業	必要経費の50%	1人5万円、全体で30万円を限度とし、1回限り	/
職業訓練	月額2万円		
学 費 補 助	授業料の70%	年額30万円限度	修学年数
家 賃 補 助	家賃の50%	年額30万円限度	2年以内

5. 補助金交付申請

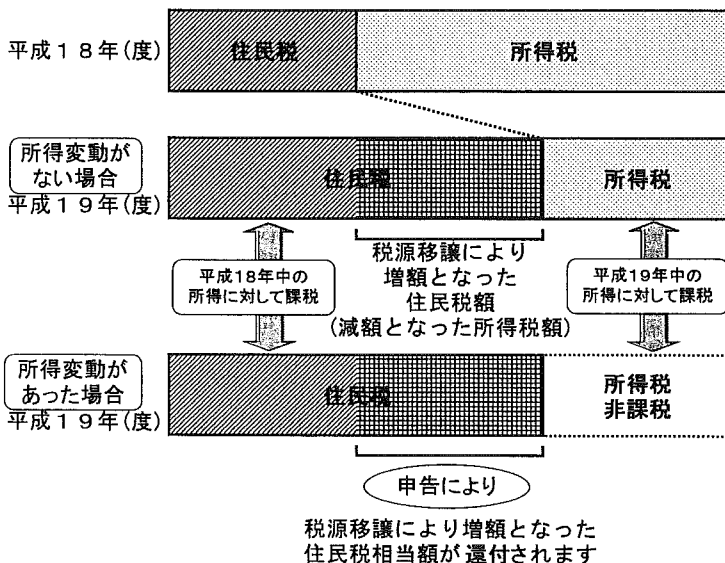
事業を実施しようとする日のおおむね1ヶ月以上前に、補助金交付申請書を町長に提出
 ※ 詳しくは役場財政課財政係 (TEL: 2-0114) までお問い合わせ下さい。

**申告が
必要です！**

平成19年に所得が減って所得税が課されなくなった方

1. 所得変動により、増額となった住民税相当額が還付されます。

税源移譲により、所得税率の変更による税負担の軽減の影響は受けず住民税率の変更による税負担の増加の影響のみを受ける方については、既に納付済みの平成19年度分の住民税額から、税源移譲により増額となった住民税相当額を還付します。



所得変動のモデルケース

【夫婦 給与収入500万円の場合】 (単位:円)

	H18年(度)	H19年(度)	平成19年度の収入が減少した場合
所得税	220,000	122,500	↓ 還付されます
住民税	130,000	227,500	
合計	350,000	350,000	

	平成19年(度)		差 額
	税源移譲前 税率適用	税源移譲後 税率適用	
所得税	0	0	0
住民税	130,000	227,500	97,500
合計	130,000	227,500	97,500

2. 所得変動に伴う住民税の還付を受けるためには申告が必要となります。

- ①申告期間：平成20年7月1日～31日
- ②申告先：海士町役場生活環境課税務国保係
 ※ご不明な点は係までお問い合わせ下さい。(電話2-0858)

議会だより

3月定例会

一般会計は、10.2%増の39億7千9百万円(建設事業拡大)第462回定例会が、3月9日(火)から3月18日までの10日間の会期で開かれました。

定例会初日は、議長の諸般の報告に続き、町長の所信表明の後、

- ・平成19年度各会計補正予算7件
- ・平成20年度各会計予算8件
- ・条例制定 6件
- ・条例改正 5件
- ・その他(規約の一部を変更)1件

- ・指定管理者の指定 5件
- ・陳情 1件
- ・一般質問では、5人の議員から行財政全般に関わる9項目について、町長に施政、施策の考えを質しました。
- ・最終日には、建設工事請負契約1件、計33件が上程されました。

3月定例会は、「予算議会」といわれるように、私たちの

暮らしと、密接に関わる「町の予算」を審議する議会でもありません。

す。厳しい経済環境の中、貴重な財源をどのように重点的・効率的に配分して、事業を推進していくか。町民の生活に大きくかかわってきます。

平成20年度各予算など、執行部から、詳細な説明を受けた後、全員協議会や常任委員会において、集中審議が行われ、活発な質疑が交わされました。定例会最終日には、一般会計当初予算に対する討論1件を含め、慎重に審議した結果、いずれも全会一致で原案のとおり可決されました。

条例制定

■海士町ふるさとづくり寄付条例

ふるさと納税の受け皿を創設。海士町の将来の発展や本町が有する自然環境及び歴史的な資産の継承を願う個人または団体から寄付金を募り、当該寄付金を財源として事業を行うことにより、活力に満ちた地域づくりに資する。

■職員の自己啓発等休業に関する条例

地方公務員法の改正により、職員の自発的な大学等課程の履修または国際貢献活動のための休業について、必要な事項を定める。

■海士町放課後児童クラブ室設置及び管理に関する条例

子育て支援を積極的に行うために、新たに「けいしょう保育園」の敷地内に児童クラブ室を設置する。

■農林水産物処理加工施設の設置及び管理に関する条例

北分地区へ、農水産物処理加工(干しなまこ施設2.1m)の設置に伴って、健全で適正な管理を行う。

■水産物鮮度保持施設の設置及び管理に関する条例

崎地区へ本施設設置。定置網業など水産物の鮮度保持のため、製水能力日産5トン、貯蔵能力45トン施設の設置に伴って、健全で適正な管理を行う。

■海洋資源活用研究施設の設置及び管理に関する条例

保々見地区へ本施設設置。ツルアラメなど海洋動植物の種苗生産技術の確立など、海洋資源活用に資する研究施設

の設置に伴って、健全で適正な管理を行う。

条例改正

■海士町後期高齢者医療制度に関する条例の一部を改正する条例など5件

平成20年4月1日から始まる後期高齢者医療制度において、制度加入の前に被保険者の被扶養者であったものの保険料徴収を、平成20年4月から同年9月までの6ヶ月間行わないことを与党合意されたことを受けて、本条例の一部を改正をする。

■その他(規約の一部を変更)

■隠岐広域連合規約の一部を変更する規約について

平成20年4月1日から、隠岐広域連合事務所を隠岐の島町役場都万支所へ移転。

陳情

■「自主共済制度を保険業法の適用除外するよう求める意見書採択に関する陳情」は、所管の総務厚生常任委員会における審査の結果、趣旨採択となりました。

■公の施設の指定管理者の指定

■海士町公の施設の指定管理者の指定手続きに関する条例に基づき、指定管理者の指定を次の通り議決した。

公の施設の名称	指定管理者	指定期間
海士町放課後児童クラブ室	社会福祉法人 慶照学園 理事長 脇谷英孝	H 20. 4. 1 ~ H 25. 3. 31
農林水産物処理加工施設	海士町漁業協同組合 組合長 仁田 收	H 20. 4. 1 ~ H 23. 3. 31
水産物鮮度保持施設	海士町漁業協同組合 組合長 仁田 收	H 20. 4. 1 ~ H 23. 3. 31
海洋資源活用研究施設	海士いわがき生産(株) 代表取締役 大脇安則	H 20. 4. 1 ~ H 23. 3. 31
ふるさと伝承施設	隠岐神社 宮司 村尾 周	H 20. 4. 1 ~ H 23. 3. 31

工事請負契約

■高石漁港地域水産物供給基盤整備工事

- ・契約先 隠岐建設工業(有)
- ・契約金額 8400万円
- ・工事内容 物揚場75m、舟揚場40m

町政に問う

一般質問



上田正子 議員

町職員の労務管理は適正か

問 上田議員

町職員の給料は全国で低いほうから7番目、職員数は平成14年度85名が平成18年度68名と20%減、時間外勤務時間は7525時間が1238時間で83%減、手当での額も88.6%減となっている。

サービス残業が常態化しているのではないか。職員の過重な労働によって健康が害されることがあってはならないが、適正な労務管理と実態に即した時間外手当の支給、そして職員採用について対策が講じられるべきと思うが町長の考えを伺う。

答 町長

職員減の要因は、職員自ら

の考えに基づく海士町活性化基金の設置により早期退職者が続出したことがあげられる。

また、単独町制による自立の道を選択したが、町財政は危機的な状況が想定され、平成16年3月、自立促進プランを策定。思い切った行革に取り組み人件費削減と、退職不補充等を実施した。必要に応じて嘱託職員を補充したものの、実質この5年間で9%の減少となった。時間外勤務手当も激減しているがパソコン等の導入による事務処理の効率化と代休で対応した。健康管理については、自己管理に努めることと、管理職に常に職員の体調に注意を払うよう指示をしている。

漁場の環境保全について

問 上田議員

沿岸海域の海底のごみ処理について

漁業振興を図る上で海底の環境を守ることは不可欠な要素であるが、海底には電化製品、自転車、バッテリー等様々なごみが不法投棄されている。海底ごみ処理対策について、

又海底の環境パトロールの配置について

答 町長

松島ダイビング推進協議会を中心にボランティア活動が始まり、平成17年度以降は離島再生交付金事業を活用し投棄ごみの回収作業を行っている。今後も継続実施する。漁業活動中に拾い上げたごみ等については、清掃センターで処理可能なものについて無料で引き取る。海域の環境パトロールについては漁協と相談をして、漁業者でボランティア的に応援を願いたい。

答 町長

設置者のホテルから3月末に撤去の目途がついたと連絡があった。

■海岸漂着ごみの処理対策について

答 町長

国において「環流漂着ゴミ対策に関する関係省庁会議」を19年3月に設置し当面の施策取りまとめをしているが具体策は講じられていない。全国離島振興協議会や関係離

島町村と連携して国に漂着ごみ対策を訴えたい。



古濱正之 議員

郷土文化の振興助長について

問 古濱議員

本町の文化振興について視点を少し変えて、郷土の文化人や古くからある文化との触れ合い等の施設か場所を確保したいわゆるギャラリイ的なものは如何か。

具体的には、故広瀬貫川氏の絵とか、故室崎沖舟氏の書、漫画単行本を出した長井紀昭氏などの作品展示、酒井薫美先生が長年に渡って取材した海士町民話等。町民のみならず来島者など多くの人々に見聞していただき観光交流や文化交流を通して本町の良さや安心して住める町をアピールすることだ。町長並びに教育長の考えを伺う。

答 町長

貴重な意見という面で賛同

する。専用の施設については費用等を考え、今後の課題としたい。場所については、小谷家の土蔵、キンニヤモニヤセンター、隠岐開発総合センター、後鳥羽院資料館、都市農村交流センターなどが活用できないか。いずれにしても吟行ツアー等々も含め観光協会、教育委員会とも協議しながら展示等について考えたい。

答 教育長

郷土出身の文化人或いは文化と触れ合う施設か場所が必要ではないか、或いはそのことを通して町内外にアピールすることが町のためになるこの2点だと思う。具体的に絵だとか、書だとか漫画本、挿絵、そういったものをどうすべきか。検討したい。



花岡美近 議員

島前内航船「いそかせ」乗り場の改善は

問 花岡議員

中国運輸局島根運輸支局よ

り菱浦港に不備があり平成17年6月1日付で改善命令が発令され応急措置をしたものの未だに改善されていない。

町長から安全確保は最優先であり、高齢化が進めば港のみならず道路や公共施設のバリアフリー化は益々重要であるが、財政事情もあり時間もありませんので計画的に整備を検討していくのでしばらくの猶予を願いたいことであつた。改善命令から3年、当初から5年が経過している。整備計画と進捗状況について町長の所見を伺う。

答 町長

菱浦漁港においては、隠岐汽船と内航船の利用している岸壁を除いて、県としては、これ以上の整備は必要ないと判断。現段階では、新たな岸壁の整備は困難な状況にある。しかしながら必要不可欠な公共交通機関として誰もが利用しやすいように条件整備に努めたい。

漁港管理者として、引き続き関係機関とも協議をしながら解決策を進めたい。



松田修一 議員

障害者自立支援協議会設立の必要性は！

問 松田議員

平成17年法制化の障害者自立支援法に基づき、本町では知的・精神・身体各障害に对应し自立した生活を手助けする組織が未設置だ。障害者の方々の相談に応じる各種委員から構成される市町村協議会が必要不可欠ではないか、支援協議会設置に向けての取組を伺う。

答 町長

昨年に本町の障害福祉サービスごとの障害福祉計画を策定。特に施設入所から生まれ育った海士町で、自立した生活を目標にした自立支援協議会は、障害者福祉計画の中で相談支援事業として、今年度に設置する計画で、担当課で既に要綱の準備を進めており、関連分野の関係者に今月中旬に委嘱する予定である。

高齢者福祉の今後の取り組みは！

問 松田議員

今回の高齢者の生活・福祉に関する調査報告書は高い回収率で危機意識・関心の高さを示し、現在本町が抱える問題を的確に表し、非常に貴重なデータで有効活用を必要と痛感する。ハードルの高い要望もあるが早急に対策を実施し、第4次総合振興計画に盛り込まれる事項もあるが、町政の経営方針である海士らしい福祉の観点から対策を伺う。

答 町長

今後の高齢者福祉を進めるもう一つの視点は町外の方々の考え方も重要と考える。実際に介護が必要になったとき町外の親族抜きでは出来ない。広報發送者名簿を基に調査報告書を送付し、意向調査をしている。先般開催した高齢者サーベイス調整チーム会議でも調査結果を踏まえ、施設待機者の状況、認知症の発生状況、過去4年間の高齢者の転出状況等を検討。方向性として在

宅サービスの充実は勿論、高齢者住宅を視野に入れた新たな支援体制づくりの必要性を確認した。調査結果から地域の繋がりで、孤立した高齢者が少ない実態も明らかになった。今後も地域での支え合いや交流活動を支援する取組を更に継続し、関係機関と協力し支援が必要な高齢者へ個別のフォローを進めたい。

温暖化防止対策の動向！

問 松田議員

京都議定書の約束開始の年にあたり、庁舎内の昼休みの照明器具の消灯・グリーン購入（使用済みの紙、封筒等を再利用し地球環境にやさしいもので、これらの環境物品等の推進を図ること）の再生紙の購入・不要な封筒の再利用等の取り組みをされているが、残念ながら成果実績が見えず、実施内容・効果成果を公表する必要があるのか。焼却所のゴミ処分量を公表するなど官民一体となって温暖化防止対策に向けての問題意識を共有して取組む必要があるのでは。

答 町長

温暖化防止対策は一人ひとりが取組まなければ解決しない問題と考える。行政の取り組みとして、各種再生紙の使用・使用済み封筒の再利用、公用車では、天然ガス車とハイブリット車を一台ずつ購入、昼休みの消灯・使用電力量を予め設定し一定の量を超える一定時間冷暖房を停止させるシステム・年間使用電力の抑制や冷暖房の適正温度設定等温暖化防止の取組を実施している。数字的なデータの算出は行っていないが数字による公表も大事だ。行政関係のCO₂排出量は平成16年度を基準年度として、本庁舎をはじめとする直営施設の電気・水道・灯油・ガソリン及び軽油の使用量を平成18年度から22年度までの5ケ年で5%削減する目標で、年度毎の実績を適宜公表する。清掃センターの処分量も、ゴミの減量化による地球温暖化防止と町民の意識啓発を図る観点から対応したい。





波多紀昭 議員

「海士町青少年問題協議会（青少協）」の役割と使命は

問 波多議員

青少協は、町の青少年施策を決定する町長の付属機関として、町長が組織の会長を務めるものだ。

町長は、昨年度から、「人づくり元年」として、人間力向上に努められている施策展開は大いに期待するところだが、しかし、本町における「求められる教育」の具体化、その「施策決定の手順」等については、所管の教委のみならず、各機関の連携があつてしかるべきではないか。

そこで1点目に、青少協設置の目的と当該事業との整合性について、2点目に、青少協の会議を直近でいつ開催したか。設置の目的・効果のための会合が開かれないまま、将来とも存置するのか。3点目に、現在本町には19の付属

機関が設置されているが、これらの年間活動日数はどうなっているか、その実績を一覧表にして提出を願いたい。以上3点の見解を伺う。

答 町長

今日子どもを取り巻く社会環境は、価値観の多様性が進み、青少協設置当時の状況とは著しい変化が見られる。しかし、次代を担う子どもたちの健全育成については議員指摘のとおり政治も行政も、教育を離れては為し得ないし、私も教育を町政の大きな柱にしており、青少協の理念と何ら齟齬を来さない。

2点目について、私が就任してから、平成15年3月31日をもって、青少協の活動を休止する判断をした。いま新たに立ち上げる考えはない。それ以前には、審議案件がある場合に開催されていた。将来必要な事態を考え、非常設機関として残して置きたい。3点目は、19の付属機関の開催状況を手交し答弁としたい。

地域再生は、地産地消の振興が根幹ではないか

問 波多議員

本町では「食の安全、安心が求められている」という時代の流れに沿って、島まるごとブランド化の一番バツターとして登場したのがサザエカレー。サザエをカレーの具に使うという、かつて島の食文化を商品化した。

『島じゃ常識』というユニークな着眼が市場に大受けし、海士町らしい個性的なヒット商品となった。しかし、一般的にどんな強力な商品でもそれだけの単品では飽きられてしまい、事業のそれ以上の発展はないと思う。そこで、カレーのラインナップが揃えば、セット商品（ギフト商品）としての力を持つし、様々な複合的効果も期待できる。そこで、メインの具が異なる新商品。例えば、「岩ガキカレー」「イカカレー」「隠岐牛カレー」「岩ガキグラタン」など

バリエーションを増やす第2、第3の商品開発を継続して取り組む意欲があるやいなや。

答 町長

バリエーションを増やすことには全く同感。単品では話題性も発売当初に比べ、落ち込んできていることも事実だ。議員提案の必要性は適切なアドバイスと受け止め、地域資源を活用した商品開発をカレーに限らず、いわゆる食の安全性を確保する観点からも重要な視点と心得ている。いま話題の岩ガキ、隠岐牛などを視野に入れた商品開発は、正にいまの取り組みとマッチングするもの。今後、市場性、販売力など総合的に勘案し、「サザエカレー」に続く、新商品の研究開発に向け関係機関一体となつて取り組んでゆく所存だ。

■隠岐広域連合議会報告

波多 紀昭

隠岐広域連合議会は3月27日に、平成20年第1回臨時会が開催された。

執行部から提出された議案は、条例案が7件、その他の決定案が3件の計10案件であった。今回の条例改正案の主なものは、全国的な医師不足の中において、離島病院の

機能維持のために、医師の給与面の拡充を図る条例の改正を行った。また、新隠岐病院の整備事業を20年度から行うために、病院整備室を設ける条例改正を行った。提案された条例改正案、その他決定案10案件について、執行部の詳細説明を受けたうえで慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。

■編集後記

議員定数2名削減となつた昨年議会議員選挙から一年が経過し、10名の議員が町の年間の行財政運営を担う20年度の当初予算を3月定例議会で慎重に審議しました。

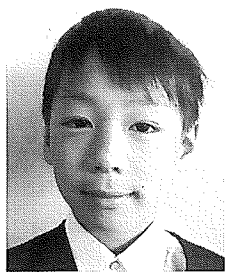
各会計の総額は対前年比%減であるが一般会計では10.23%増の積極予算が組まれている。青葉若葉の萌え出る新緑の季節に因んで諸々の事業が円滑に運営され成功発展するよう期待しています。

議会だよりの編集を担当したスタッフ4名、今回で6回の編集を行いました。議会だよりに対してみなさんの忌憚のないご意見をお寄せ下さい。(文責 上田正子)

入学おめでとう！ ピカピカの1年生

福井小学校

教育だより



わかもと こういちろう
若本 航一郎 (菱浦)



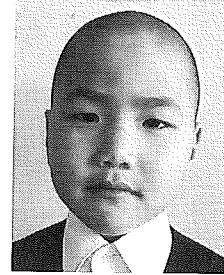
もとよし あいか
元吉 愛華 (中里)



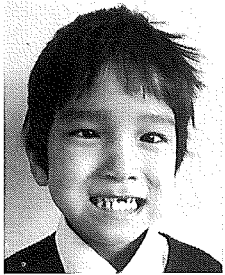
まんしろ じゅう
万代 丈 (中里)



いdegami のんの
井手上 暖乃 (福井)



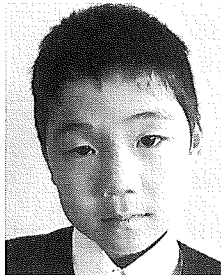
たかはし たくや
高橋 拓也 (崎)



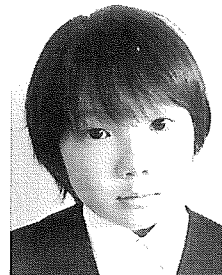
しまがき たくみ
島垣 拓海 (菱浦)



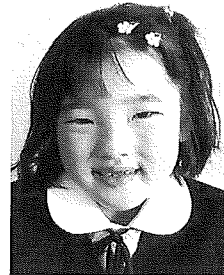
ふくい みみ
福井 美波 (福井)



こだがわ りゅうせい
小田川 龍清 (崎)



わたなべ たいよう
渡邊 大陽 (崎)



かしわだに ここあ
柏谷 心愛 (西)

福井小学校
10名入学

児童数 64名 保護者数 41名

教育目標

豊かな心を育み、最後までやりぬく主体的な児童の育成

◆(豊かな心) 思いやりのある子

◆(主体的な児童) 進んで学ぶ子

◆(やりぬく意志) 強くたくましい子

努力目標

1 思いやりのある子を育てる

① 友の良さと自分の良さが分かることも

② 郷土と学校に誇りを持つ子ども

2 進んで学ぶ子を育てる

① 疑問を持って追求する子ども

② 生き生きと活動する子ども

3 強くたくましい子を育てる

① 根気よくがんばる子ども

② 希望を持って学び続ける子ども

③ 自分の体力をのばそうとする子ども

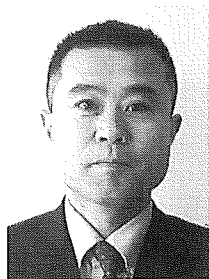


◆新任教員紹介



校長 ひらかわ ちか
平木 千秋

15年ぶりに海士の学校へ帰りました。福井小学校は自分の母校でありうれしく思うと同時に身の引き締まる思いです。子ども達は年々少なくなっており淋しいですが、一人ひとりのよさを伸ばすよう精一杯頑張ります。ふるさととの教育の為に地域の皆様の知恵やご支援をよろしく願います。



教頭 いわた けんじ
岩田 健志

海士町に赴任してわずかな日数しかたっていませんが、その数日でも海士町のパワーを実感しています。そのパワーの源は、この地の豊かな自然と人情の豊かさだと思います。それに引かれ、全国各地からたくさんの方々がこの島に集まってこられるのに違

いないと思えました。この地に着任できた幸を力に、子ども達と地域に貢献できるようにがんばりたいと思います。どうぞよろしく願います。



すみ かつひこ
角 法

はじめましての方、お久しぶりの方、こんにちは。この度、福井小学校に新規採用になりました角法子です。海士に来るのはこれで4回目です。海士小・海士中での実習ですばらしい出会いがあったおかげでこの地に戻ってくる事ができたのではないかと思っています。今、海士町で暮らしていることが夢みたいです。教員の中で一番若い22歳のピチピチした私をどうぞよろしく願います。



くろだ のりあき
黒田 法枝

知夫小学校から今年度は海士での勤務となりました。

福井小学校は、4年前に途中から勤務したことがあり、そのときの2年生たちが6年生となり成長した姿を見られるということ、とてもうれしく思っています。子どもたちと共に自分も成長していきたいと思っております。



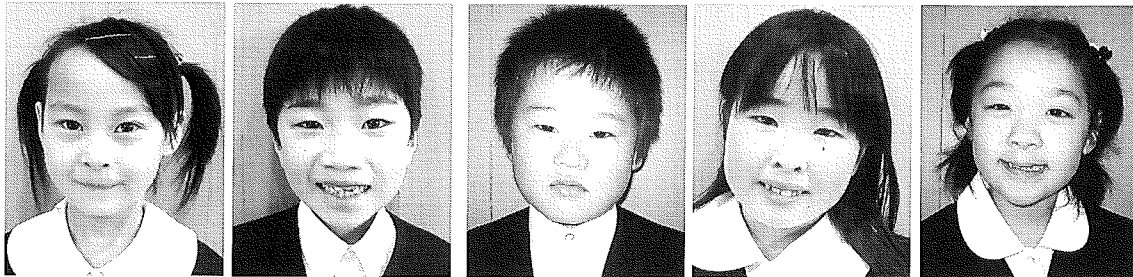
小西 智晶

私が海士町と出会ったのは去年の夏のことです。温かい人々と活気あふれる町、豊かな自然に強く心魅かれ、この度故郷大分を発ち4月から福井小学校に勤務することになりました。これからどんな毎日がやってくるのか、楽しみながらやっていくつもりです。子ども達とともに自分自身も成長していく教師でありたいと思っております。どうぞよろしく願います。



入学おめでとう！ ピカピカの1年生

海士小学校



大野 舞彩 (東)

藤田 港人 (宇賀)

湧井 航太 (北分)

亀原 千穂 (宇賀)

藤井 奈桜 (北分)



波多 百恵 (東)

石倉 朋果 (宇賀)

大島 一心 (東)

梅田 希 (宇賀)

木綿 由妃菜 (宇賀)

竹中 しのぶ (宇賀)

児童数46名 保護者数35名

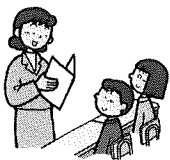
教育目標

自ら学び、互いに認め合い
心身ともにたくましい海士
の子を育てる。

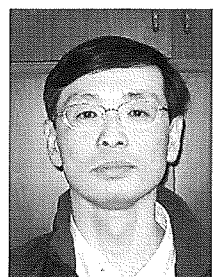
- ◆考える子
- ◆助け合う子
- ◆元気な子

経営方針

- ① 「自分を変えよう」
「子どもを変えよう」
「学校を変えよう」
を合い言葉に、
 - ② 「自ら学ぶ力を育てる」
 - ③ 「より良い人間関係を育てる」
 - ④ 「豊かな心を育てる」
 - ⑤ 「健やかな心と身体を育てる」
 - ⑥ 「ふるさとを愛する心を育てる」
- の5つを海士小学校の大きな柱として、日々の実践に取り組む

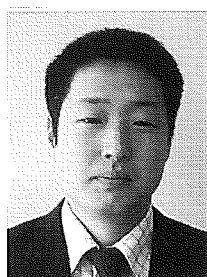


◆新任教員紹介



教頭 加田 孝志

このたび、出雲市立日御碕小学校から転任して参りました。たくさんの方から、海士町は今一番活気のある町だと聞き、赴任をとっても楽しみにしてきました。先日の初任地研修で、そのことを実感しているところです。初めての地、単身赴任、そして教頭職と今は、不安でいっぱいですが、海士の生活に早く慣れ、子ども達の成長のために全力を尽くしたいと思います。よろしく願います。



ながさわ 信吾 長澤

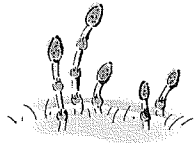
この度、海士小学校に勤務することになりました。昨年度は隠岐の島町で幼稚園に勤めていましたが、今年度から小学校教員として頑張りたいと思います。小学校の先

生について、海士について、わからないことだらけですが、持ち前の元気のよさで毎日を楽ししく、笑顔で過ごしたいです。よろしく願います。



ゆき木 かおり
勇木 香織

この度、海士小学校で勤務することになりました。海士で暮らし始めて2年半がたちました。少しずつ知り合いも増え、毎日おいしい海士の恵みを食べ、楽しく毎日を過ごしています。また、学校事務の仕事も3年目です！まだまだわからないことも多いですが、精一杯頑張りますのでよろしく願います。



海士中学校

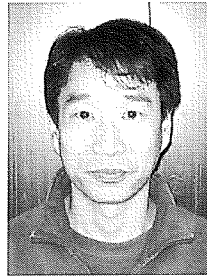
生徒数60名 保護者数52名

教育目標

- 「21世紀を心豊かに たくましく生きる人間の育成」
- かしこく (進取・自学)
- やさしく (友愛・感謝)
- たくましく (健康・自立)
- 人のために (協力・勤労)



◆新任教員紹介



教頭
ますみつと くにお
増本 邦雄

再び、海士中学校に勤務することになりました。13年ぶりの海士町は、外から見ているよりずっと勢いがある。圧倒されそうでした。私も海士町のために「先憂後楽」の意識を強く持って、誠心誠意努力します。まずは、保小・中・高の連携の中心として、がんばりますのでよろしく願います。



たかひろ
谷口 弘二

この度、隠岐の島町立中村中学校より海士中学校に赴任して参りました。まだ、海士のまじのことに慣れていませんが、海士町のすばらしい環境の中で、将来を担う子どもたちの夢と希望の実現に向けて、精一杯がんばりたいと思いますのでよろしく願います。



ひの 晶子

この春から新しく海士中学校で国語科の担当になりました。日野晶子です。出身は松江です。海士に来て、海士町の皆様の温かさにふれ、大変ありがたいと思っています。このぬくもりと雄大な自然の中で育っていく子どもたちと共に、たくさんのことにチャレンジしたいと思えます。よろ



ふじた しょうた

しく願います。

4月に隠岐養護学校から参りました。海士での生活は初めての事ばかりで戸惑いながらも毎日で、少しです。早く慣れたいと思いますのでよろしく願います。体を動かすことが好きなので、海士では色々なスポーツに挑戦したいです。特技は競技歴15年のバスケットボールです。



ごしま なつこ

海士町の皆さん、初めまして。4月17日より、養護助教諭として着任いたしました。初めて海士町に来ましたが、自然が豊かで地域の方も暖かく素敵な所だと思いました。私自身、自然が好きなので、さまざまな体験ができた

ばと思っっています。どうぞよろしく願います。



はなびし みみ
花岡 美智子

退職して1年、やっと自由な生活にも慣れ、2年目へ突入かと思いきや、1学期間というところで引き受け、母校でもあり、初任校でもある海士中に勤務することになりました。短い期間ではありますが、一所懸命頑張りますので、よろしく願います。

第7回 海士町立学校等
初任任教職員研修会



岩ガキ出荷場の見学

本年度第7回目をむかえ

る標記研修会を、4月3日に行いました。隠岐島前高校に新しく赴任となった教職員の皆様にもご参加頂き、小・中・高校合同で実施することができました。

この研修は、海士町に赴任された先生方にいち早く海士に慣れて頂くと共に、町内の教育資源や方針をよく知って頂き、小・中・高の先生方のネットワーク化を図ることを目的に実施しています。

次に、このコーナーで島前高校に新しく赴任された先生方をご紹介します。

島根県立隠岐島前高等学校

教育目標

- 1、主体的、意欲的に行動する人間の育成
- 2、広い社会的視野をもち社会に貢献する人間の育成
- 3、情操豊かで思いやりのある人間の育成
- 4、心身共に健康な人間の育成



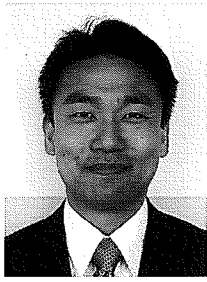
◆ **新任教員紹介**



校長 石田 和也
いしだ かずや

松江北高校から赴任してまいりました。初めて隠岐の学校に勤務しますが多くのの方々から「隠岐は人情味溢れた良い所」と聞かされてきました。自然が豊かで、言うまでもなく魚介類がおいしく、これからの生活が楽しみです。

島前高校の現状を踏まえ、魅力ある学校づくりに邁進したいと思しますので今後ともよろしく願います。



立樹 隆太
たつき たかし

6年ぶりの島前高勤務です。海士にきた初日から多くの方々に声をかけていただき感激しました。また、教員生活で初めて教え子とともに勤務するという経験を得ることができ、島前高との不

思議な縁を感じております。

未熟者ゆえ、今回の勤務も地域の皆様のお力を、あるいはかつての教え子たちの手助けを得なければ何もできません。町でお会いしましたなら気軽に声を掛けました。前にも勝るご助力を賜れば幸いです。



平田 敏
ひらた びん

この度、初めて海士町へ来ました。前任校では、ここで生活を体験している人も多く、みんなが「いいところだよ」と言っていましたので、この島でのこれからの生活が楽しみです。学校のみならず、地域の方々とも交流を深めることでたくさんのご経験を学びたいと思えます。よろしく願います。



高志 高志
たかし たかし

浜田市にある浜田高校か

ら隠岐島前高校に赴任して参りました。大都会？の浜田から来ましたので、島前での暮らしに早く慣れるかどうか心配です。島前は海と夜空がとても綺麗で毎日感動の連続です。前任校とは異なり小規模なので、地域の皆様との連携を大切に教育に力を入れていく必要があると感じております。どうぞよろしく願います。



事務長 和善 和善
かずよし かつよし

水産技術センターより、事務長で赴任した昼沢和善です。海士町へ来たのは初めてですが、町の皆さんは皆親切で親しみやすくてとてもうれしく思っています。生徒の減少に伴う収入源で学校運営も厳しいものがあるようですが、全力で取り組んで生きたいと思っております。よろしく願います。



水谷 丸守
みずたに まる

この度の人事異動で隠岐島前高校に赴任してまいりました。前任地は隠岐の島町でしたが、海士町のいろいろな活動をテレビや新聞を通じてよく耳にしております。私も微力ながら海士町並びに隠岐島前高校の発展にお手伝いしたいと思っております。これからよろしく願います。



地域教育コーディネーター 健一 健一
けんいち けんいち

この度の人事異動で、県から海士町教育委員会に地域教育コーディネーターとして派遣されました。島前高校に席を置き、島前高校の魅力を島前3町村をはじめ全国に紹介していきたいと思っております。よろしく願います。



古代から四郡（周吉、穩地、知夫、海士）に分かれていた隠岐が、「隠岐1郡」とされたのは、昭和44年4月1日のことでした。

この年の1月1日に、全国でも珍しい「一島一郡一村」の島であった海士村に町制が布かれ、来年は町制施行40周年となります。

今回は海士の由来について、昭和57年発行の広報海士第272号の記事を再掲載します。

「海士の由来」

アマが記録に残っている一番古い例は、奈良の藤原宮（六九四〇〜七一〇）跡から掘り出された木の札で「海評海里」と書いてあるそうです。貢物のメノハに付けた荷札【注1】のようです。

古代の地名が行政区画として整備されたのは、大化改新の律令制に基づく国郡里制です。正倉院に保存されている当時の隠岐国正税帳では「隠伎国海部郡」となります。文献によると海部郡には、海

部郷・布勢郷・佐作郷の三郷（郷は里の改称）があったという事です。

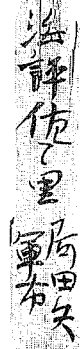
やがて、室町幕府の後期「海士郡」は、海士・宇受賀・豊田・福井・知々井・太井・布施・崎の八か村【注2】に分かたれ、秀吉の太閤検

地などを通じて、住民の生活単位であった村が、地方統治の単位としても確立してきます。結局、アマを表す漢字は、海↓海部↓海士と変化したわけですが、村上家の文書では一四一一年までが「海部」、一四五二年以後のものが「海士」となっています。

アマという語は、海・漁夫・漁撈民・海女・海士（男あま）などの意味を持っていますが、海士町のアマは、漁業や海運にたずさわる人たちの定住地であったことから出た名ではないかと考えられています。アマは海士ではなく漁師であるというわけです。【注3】

ほかにも似たような地名がありますので例をあげます。

- 海部（郡名）……………愛知県
- 海部（郡名）……………徳島県
- 海部（郡名）……………大分県
- 北海部（郡名）……………大分県



海評佐々里 阿田矢 軍布

- 海士（集落名）……………鳥取県
- 海士町（地区名）……………新潟県
- 海士岬（地名）……………石川県
- （広報海士第272号(5)を転載）
- 【注1】 藤原京出土の木簡

貢物に付けていた木の札は木簡と呼ばれ、書いてある内容から地名や人の名前、贈った品物が判ります。

【注2】 明治21年、町村制が公布されるが、隠岐は町村制を施行しない島嶼に指定され

明治37年まで海士郡八ヶ村が続き、合併によって海士村が誕生した。

【注3】 鎌倉幕府の事跡を伝える歴史書「吾妻鏡」によると、後鳥羽上皇の行在所を「阿摩郡苅田郷」と記すように、アマという音を漢字にすると

色々な漢字があてられ、地理的環境を考えながらアマの地名を調べていくとおもしろいです。（注の文責 文化財保護審議委員 榊原信也）

古文書教室開催のお知らせ

「島まるごと図書館構想」の一環として自主講座「古文書教室」を開催することになりました。

古文書はとっつきにくいというのが実感だと思えますが、左の文は西ノ島町で行っている古文書教室での体験記です。

「おきのすさび」をテキストにして、今回は約4ページを読みました。全文字数は826文字です。

初めて古文書を見た人は難解で敷居が高いと感じたのかも知れませんが、統計を取ってみると案外に突破口はあります。全文字数826の中で、平仮名は299字、変体仮名は207字、漢字は320字になります。

割合は平仮名36%、変体仮名25%、漢字39%です。つまり、平仮名を読めれば3割は読みを達成できています。

次に変体仮名を学べば、61%達成可能です。これに漢字を加えれば100%は目の前です。漢字は39%もありますが、現実的には「漢字が全然読めない」という事はあり得ません。おそらく、半分以上は読めているはずで

となると、平仮名、変体仮名のふたつをマスターすれば、80%以上は古文書は読めます。

「案外易しそっだ」と思いませんか。

講師の先生には、テキストを100%読んでいただき、文章の歴史的背景や、古文書のルールも学びます。

第一回 古文書教室

日時 6月4日午後7時

場所 隠岐開発総合センター小会議室

講師 松本美和子先生

費用 資料代等として年間6千円を予定しています。

その他 西ノ島町の皆さんと一緒に学びます。

なお、二回目以降の教室の運営については、参加者の自主運営といたします。

※準備の都合上、参加される方は、6月2日までにご連絡下さい。

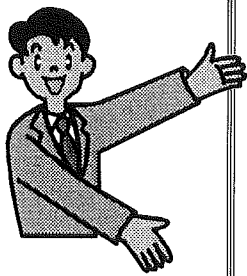
連絡先 海士町教育委員会 ②1222 吉元

人間力推進PJの取り組み

人間力推進プロジェクトチームでは、昨年度に引き続き持続可能な地域社会を目指し、海士町の課題を整理しながら、人間力あふれる人づくりを推進していきます。

◆今年度の重点的な取り組み

- ① 島前高校の魅力化
- ② 出郷者との協働(ネットワークづくり)
- ③ 島内外との交流事業
- ④ 環境の意識啓発



それぞれの活動について、取り組みの状況を報告しながら、みなさんのご意見もお伺いしたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

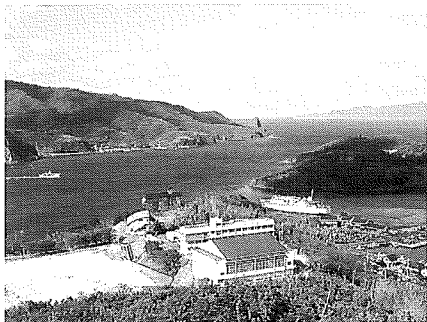
島前高校の魅力アップ案の大募集!

動きはじめた島前高校魅力アップチーム

島前内外から生徒が集まる魅力ある高校づくりが、3町村の連携でいよいよ本格的にスタートしました。

それに伴い、このプロジェクトの調整と魅力化実現を支援する地域教育コーディネーターとして西ノ島出身の濱板先生が島前高校に配置されました。

また、島前高校の先生とPTAに加えて、島前3つの中学校、3つの教育委員会の代表や地域教育コーディネーターも含めたチームが発足し、「どんな魅力的な高校にして



家督山中腹からみた島前高校。心地よい潮風を受けながら勉学に勤しめる環境

いくか」という構想と計画づくりを協議しながら進めていきます。

「こんな高校にして欲しい」

「こんな高校だったら子どもを通わせたい」島前高校のこ

こをもっとこうして欲しい」

「こういった魅力的なことができれば、全国からも生徒が集まるだろう」といった、皆さんのご要望やアイデアを6

月9日まで大募集しています。

是非、些細な点でも思うことがありましたら、島前高校・

地域教育コーディネーターの

濱板(0731)もしくは、岩本(01222)まで。

海士町教育委員会(担当:吉元・岩本01222)まで、ご連絡をお待ちしております。

* * * * *

来る5月26日(月)には、

学力向上で多くの成果・実績を出している「東家庭教師友の会」の代表や学生による、

「学習意欲の向上」をテーマにした「出前授業」が行われます。夕方には、保護者や教育関係者向けの勉強会も実施されますので、興味がある方は是非ご連絡ください。

▼詳細は教育委員会(担当:岩本01222)まで。

第4次海士町総合振興計画策定に向けて

「海士の未来を考える会」始動!



去る3月2日(日)隠岐開発総合センターにおいて、海

士の未来を考える会を開催

しました。会場には町内から

老若男女約60名が集まり、海

士の未来について考えました。

本会は、来年度から始まる

第4次海士町総合振興計画

を策定するため実施したも

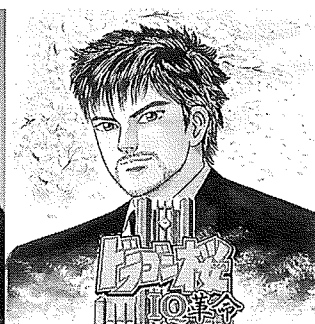
ので、計画についての説明や

策定スケジュール等を説明

し、参加者全員から海士の未



東家庭教師友の会が行っているサービスのひとつ『ドラゴン桜IQ革命』



来について語っていただきました。

海士町では、今年1年間かけて第4次の計画を策定する予定で、委員を公募し住民参加型で作りたいと考えています。既に町内外から約50名の応募があり、第1回全体会を4月23日に行い、体制を整ったところです。

総合振興計画について、ご意見、ご要望等がありましたら事務局までお問い合わせ下さい。(電話0851421222人間力推進プロジェクト)

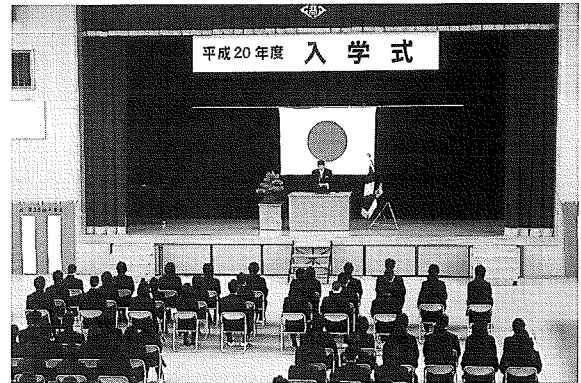
隠岐島前高校だより

第44回隠岐島前高校入学式

校 訓
真理 理想 進取

教 育 目 標

1. 主体的、意欲的に行動する人間の育成
2. 広い社会的視野をもち社会に貢献する人間の育成
3. 情操豊かで思いやりのある人間の育成
4. 心身共に健康な人間の育成



胸夢膨らむ学舎～28名の新入生

4月9日、平成20年度入学式が本校体育館で挙行了されました。この日は入学式にふさわしい晴天で、校庭の桜は美しく咲き乱れ、下に広がる海は青く透き通り、まるで新入生の入学を共に祝っているかのようなようでした。扇谷西ノ島町長様をはじめ多数のご来賓の臨席を賜り、28名の新入生諸君が期待と希望に胸をふくらませて入学しました。「3年間、思う存分に個性を磨き、才能を伸ばし、充実した高校生活を送れるよう期待しています。そして、学習に対して積極的であれ、よき友人を作れ」との校長の言葉を、若くはつらつとした新入生たちはしっかりと胸に刻んでいました。

入学式、対面式も無事終わり、ホームルームでは担任が(汗だくになりながら)提出書類を回収し、その後これからの高校生活に向けて話をしました。その話を聞いている新入生はと言うと・・・新たな生活への不安もあったでしょうが、それ以上に希望に満ちた明るい表情や皆さんの目の輝きが非常に印象的でした。これからの高校生活の中でその輝きを忘れず、よりいっそうと輝きを持ってもらいたいと思いました。

新入生を迎え入れた島前高は活気に満ちています。本校の校訓「真理・理想・進取」のもと、素晴らしい高校生活を送ってくれることでしょうか。今後も生徒の力を伸ばし、進路を保證することに教職員全員で取り組みますので、保護者の皆様、地域の皆様、どうかご協力をお願いいたします。

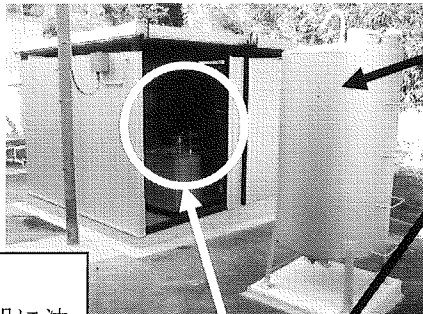
新エネルギーを導入

環境にやさしいリサイクル

廃食用油燃料化装置を設置

食廃油の無料回収を実施します!

清掃センターのゴミ燃焼炉の燃料である灯油に、家庭や飲食店から出る廃食用油を20～30%混ぜ合わせて使用するための装置を設置しました。清掃センターの経費節減と廃食用油排出による自然界への影響を軽減することを目的としています。町民の皆様のご協力をお願いします。なお回収は5月21日から実施となります。



集めた廃油は一旦このタンクに溜めます。

溜まったら、廃油再生装置に入れ、灯油と混合して精製します。

精製油を焼却場へ送り、燃料として使います。

●廃食用油の出し方

ペットボトルやビンなどフタ(キャップ)のできる容器に油を入れ漏れないようにして所定の場所へ置く。(清掃センター持ち込み可) また、飲食店等事業所の方は一斗缶など油の漏れ出さない容器に入れ清掃センターへ持ち込んで下さい。

●収集日について・・・

収集日は、毎月第3水曜日(初回収集日は5月21日です。)
 ☆清掃センターへ持ち込む方は5月1日からセンターの営業中であれば随時受け付けます。
 ☆油を入れて出した容器は原則返品いたしません。

廃食用油燃料化装置

チャレンジデーのご案内 5月28日(水)開催

○チャレンジデーとは・・・人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツをした住民の『参加率』を競い合うのがチャレンジデーです。各地区や団体、仲間たちが一つになり、地域が活性化できつけかけとなればよいと考えています。

なお、今年に対戦する町は富山県の舟橋村（人口2,928人）岡山県の新庄村（人口1,081人）の三つ巴戦となります。

**開催日時**

平成20年5月28日(水)
午前0時〜午後9時

参加対象

当日、海士町内にいる人（子どもから高齢者まで、観光客も対象）

実施内容

15分以上継続して運動や作業など健康を意識した活動

実施場所

海士町内どこでも参加可能

*詳しくは地区回覧等のお知らせでご覧下さい。

太陽光照明灯設置

安心安全な通学路に！
子ども達の念願かなう



太陽光発電型照明灯 夕暮れ時も安心して歩けるようになりました。

一昨年の子ども議会から要望も出ていた、「通学路への街灯設置」について、この度モデル的に一箇所設置いたしました。場所は、町道諏訪〜豊田線で、北分町営住宅から東側へ約100mの所です。本箇所は海士小学校の通学路になっており、保護者及び車の運転手からも「夜間は街灯が無く、危ない！」と指摘を受けていた場所でもあります。

なお、今回設置した照明灯は、電力を太陽光でまかなう型式となっており、環境教育の一環にもなると思っております。付近を通ることがあります。付近を通ることがあります。付近を通ることがあります。付近を通ることがあります。付近を通ることがあります。

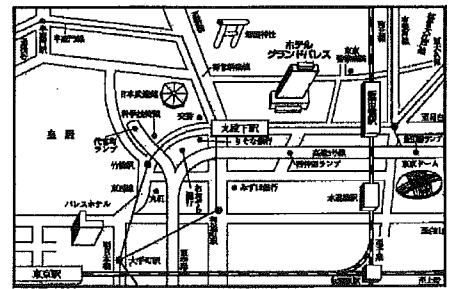
第31回関東海士後鳥羽会総会のご案内

海士出身の関東在住の皆様、お元気のこととお慶び申し上げます。関東海士後鳥羽会総会は、海士町出身者の方々毎年1回一同に会し、旧交を温め、明日への活力を養う懇親の場です。海士町からは、町長を始め議会議長等ご参加下さる予定ですので故郷の生の情報も存分に聞けます。アトラクションとしては、宇野社中による民謡、盆踊りの指導、また会員有志の舞踊、カラオケ等、盛り沢山企画しており、海士の物産の即売コーナーもございます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

*転居等により宛て先不明で帰ってくるご案内が増えております。転居の際は、新しいご住所をご連絡下さいますようお願いいたします。

記

- ▼日時 6月15日(日)11時30分より
- ▼場所 ホテルグランドパレス 3階 白樺(地図参照)
(電話) 03-3264-1111
- ▼会費 男性:10,000円、女性8,000円、ご夫婦16,000円
学生および80歳以上5,000円
- ▼連絡先 古谷(電話) 042-635-6878



- ◆電 車 九段下駅下車/徒歩1分: 地下鉄東西線(7番出口)
地下鉄半蔵門線・新宿線(3番出口)
飯田橋駅下車/徒歩7分: JR総武線、地下鉄東西線・有楽町線・南北線・大江戸線
- ◆お 車 首都高速「西神田ランプ」(5号線)より1分
「代官町ランプ」(環状線)より5分
「飯田橋ランプ」(5号線)より5分
- ◆タクシー 東京駅から10分、上野駅から15分

東京・丸線
グランドパレス
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-1-1
TEL 03(3264)1111
http://www.grandpalace.co.jp

ご予約・お問い合わせは
TEL 03-3264-1111 (代表)

戸籍の窓

※1/2届出分(大字は地区在住者)

すこやかに

高松 縁くん 西 佳司
 山斗 秀真くん 北分 隼人
 村上 もえちゃん 西 孝幸
 村尾日夏里ちゃん 宇受賀 清
 山中 香海ちゃん 中里 祐造
 大野 滯夢くん 東 啓輔
 銭谷 鳳凰くん 宇受賀 恵

しあわせに

宮本 慎さん 日須賀
 中西 智香さん 日須賀
 秋月 美明さん 日須賀
 坂上いづみさん 宇受賀
 三島 正道さん 宇受賀
 谷口 恵さん 中里
 小谷 芳徳さん 中里
 増本みゆきさん 中里
 今泉 佑介さん 東 御波
 村井 美智さん 東 御波
 板脇 隆能さん 東 御波
 秋山 育美さん 北分
 眞井 格さん 北分
 藤田 知子さん 北分
 春馬 清さん 豊田
 河濱 優子さん 豊田
 米山 貴司さん 中里
 横山 南さん 中里
 福島 大介さん 中里
 山本 敏枝さん 中里
 周藤 浩幸さん 中里
 福山 祥子さん 中里

やすらかに

山本 禎夫さん 知々井 77歳
 今津ハルノさん 豊田 80歳
 吉見 松枝さん 多井 83歳
 田邑 種子さん 福井 98歳
 中畑スミ子さん 西 82歳
 水上 國明さん 知々井 79歳
 中尾ヨシエさん 宇受賀 79歳
 孤島 晃さん 御波 83歳
 濱名 勝明さん 菱浦 77歳
 井上美都子さん 保々見 75歳

紙上からお礼

●香典返し
 金一封 水上 紀之様(知々井)
 金一封 今津 昇様(豊田)
 金一封 田邑福太郎様(福井)
 金一封 中尾 和正様(滋賀県)
 金一封 中尾 龍丸様(宇受賀)
 ●見舞い返し
 金一封 山戸 幸一様(崎)
 金一封 山河 宏様(中里)
 金一封 中山フミ子様(北分)
 (海士町社会福祉協議会・特別養)

護老人ホーム諏訪苑より

●海士町千本桜構想寄付金
 金一封 山名 寛様(兵庫県)
 ●広報郵送料
 金一封 藤井 澄子様(米子市)
 金一封 濱崎 俊男様(西宮市)
 金一封 安木 紀夫様(岡山市)
 金一封 大江亜矢子様(大阪市)
 金一封 道橋 健一様(松江市)
 金一封 津久田資紀様(門真市)
 金一封 井藤 正彦様(隠岐の島町)
 金一封 石倉 良和様(東京都)
 金一封 柏原 丹様(豊田市)
 金一封 梨田 征子様(茨城県)
 金一封 鹿志和福太郎様(大阪府)
 金一封 今木 明弘様(松江市)
 金一封 菅沢智恵子様(米子市)
 金一封 藤田 良三様(門真市)
 金一封 橋本 邦雄様(境港市)
 金一封 吉田 昭寿様(横浜市)
 金一封 宮岡 隆文様(松江市)
 金一封 村尾 昌信様(西ノ島町)
 金一封 門脇 光男様(松江市)

出郷者の皆様へ

ご住所の変わられた方はご一報下さい。また、お知り合いの方で広報をお読みになりたい方がおられたらいつでも総務課広報係までご連絡下さい。
 TEL 0851420115 (直通)

EX 0851420208

合格おめでとう！

全国珠算学校連盟検定合格者(3/23実施)
 第251回珠算検定合格者
 1級 山戸 彪雅(豊田)



2級 千田 翔(北分)
 真野 海成(北分)
 4級 滝川 七海(宇受賀)
 久保 鈴夏(北分)
 6級 真野里帆奈(北分)
 第207回暗算検定合格者
 3級 仲島 大貴(御波)
 4級 佐々木梓沙(福井)
 久保 鈴夏(北分)

海士町情報公開制度による

開示状況

条例の規定に基づく平成19年4月1日から平成20年3月31日までの1年間、開示請求はありませんでした。

駐在所からのお知らせ

改正道路交通法が6月から施行される予定で、次のことが義務づけられます。

- 後部座席シートベルトの着用義務づけ
 自動車の運転者は、助手席以外についても原則シートベルトを装着しない者を乗車させて自動車を運転してはいけません。
- 高齢運転者標識の義務付け
 75歳以上の人が自動車を運転する場合「高齢運転者標識」を表示しなければなりません。

浦郷警察署海士駐在所

自動車税の納期内納付について

平成20年度の自動車税は、6月2日(月)が納期限です。今年度から金融機関や県民センターの窓口のほか、コンビニエンスストアでも納付できるようになりました。

夜間や休日でも納付できますので、期限までに必ず納めていただきますようお願いいたします。

自動車税は毎年4月1日現在の所有者の方に対して課税されますが、年度中途の抹消登録の手続きをされますと、税額が月割りで減額されます。また、車検を受けるときには必ず納税証明(継続検査用)が必要です。詳しくは東部県民センターへお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先 東部県民センター
 〒690-8551 松江市東津田1741-1
 TEL (0852-32-5626) 【課税に関すること】
 (0852-32-5629) 【納税に関すること】